

令和7年度「全国学力・学習状況調査」の結果 －分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について－

区名	天王寺
学校名	桃陽小学校
学校長名	山西 直樹

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和7年4月17日（木）に、6年生を対象として、「教科（国語・算数・理科）に関する調査」と「児童質問調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査内容

(1) 教科に関する調査

- ・国語
- ・算数
- ・理科

(2) 質問調査

- ・児童に対する調査
- ・学校に対する調査

3 調査の対象

- ・国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・桃陽小学校では、第6学年 75名

令和7年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要

令和7年度において、国語科では全国平均より5.2ポイント、大阪市平均より7ポイント、算数科では、全国平均・大阪市平均より8ポイント、理科では全国平均より1.9ポイント、大阪市平均より4ポイント上回っている。それぞれの学習指導要領における領域においても、理科の『エネルギー』以外の領域はすべて全国平均よりも上回っていて、大阪市平均と比較するとすべての領域で上回っている。無回答率も国語科・算数科においては全国平均、大阪市平均より低い。本校児童の学力はある程度高い水準で定着していることがうかがえる。

分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

[国語]

すべての領域において、大阪市平均及び全国平均を上回っている。特に「我が国の言語文化に関する事項については全国平均よりも8.5ポイントも高く、学びサポーターなどを活用した個に応じた学習指導の成果だと考える。

[算数]

すべての領域において、大阪市平均及び全国平均を上回っている。個に応じた指導の指導の充実や、ICT機器を活用した効果的な学習などによって、基礎・基本の定着につながったと考えられる。

[理科]

すべての領域において、大阪市平均を上回っている。児童の気づきや疑問から問題を設定し、問題を解決していく学習が、学習の定着につながっていると考える。

質問調査より

「毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか」「毎日、同じくらいの時刻に起きていますか」の質問に対して最も肯定的な回答をした児童の割合が全国平均よりも10%以上高く、規則正しい生活をしている児童が多くいることが窺える。また、「読書は好きですか」の質問に対して最も肯定的な回答をした児童の割合が76.8%と全国平均よりも8ポイントほど高く、学校司書と連携した日々の読書活動（本の読み聞かせ、ビブリオバトル、味見読書など）が、読書好きを増やしている要因と考えられる。

今後の取組(アクションプラン)

家庭の協力もあり、規則正しい生活をする児童が多く、落ち着いた学習環境で、意欲的に学ぶ児童も多く、ある程度高い学力の水準で定着している。また、学校司書と連携した読書活動によって、読書好きの児童が多くいることも高い学力水準につながっていると考える。児童質問紙「自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか」「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方方に気付いたりすることができますか」の質問に対して、肯定的な意見が63.8%と76.8%で、どちらも大阪市・全国平均よりも低い。主体的に学習している児童が多いが、『対話的で深い学び』の部分では課題がある。スクールアドバイザーとの連携や外部研修会で研鑽し、自分の意見や考えを交流する時間をこれまで以上に多く取ったり、1人1台端末をさらによりよく活用したりするなどして、対話的で深い学びとなるよう取り組んでいく。

【 全体の概要 】

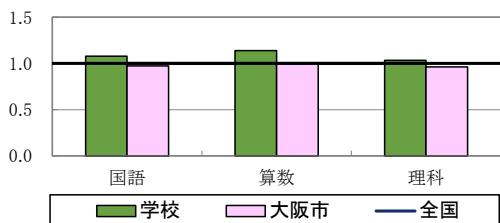
平均正答率 (%)

	国語	算数	理科
学校	72	66	59
大阪市	65	58	55
全国	66.8	58.0	57.1

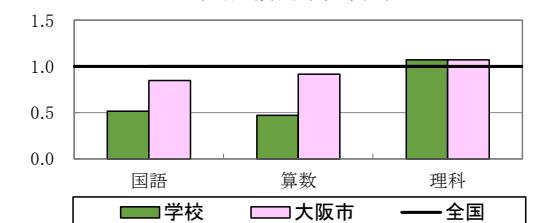
平均無解答率 (%)

	国語	算数	理科
学校	1.7	1.7	3.0
大阪市	2.8	3.3	3.0
全国	3.3	3.6	2.8

平均正答率(対全国比)



平均無解答率(対全国比)



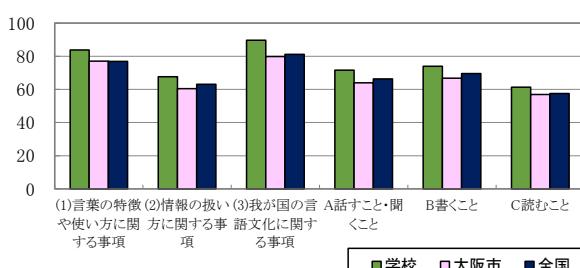
【 国 語 】

学習指導要領の内容	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い方に関する事項	2	83.8	77.1	76.9
(2)情報の扱い方に関する事項	1	67.6	60.4	63.1
(3)我が国の言語文化に関する事項	1	89.7	79.9	81.2
A 話すこと・聞くこと	3	71.6	64.0	66.3
B 書くこと	3	74.0	66.7	69.5
C 読むこと	4	61.4	56.9	57.5

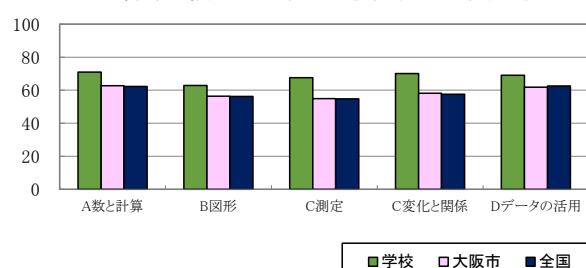
【 算 数 】

学習指導要領の領域	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 数と計算	8	71.0	62.7	62.3
B 図形	4	62.9	56.4	56.2
C 測定	2	67.6	54.9	54.8
C 変化と関係	3	70.1	58.2	57.5
D データの活用	5	69.1	61.9	62.6

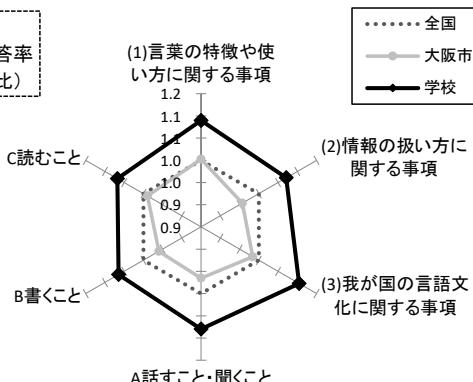
国語 内容別正答率(学校、大阪市、全国)



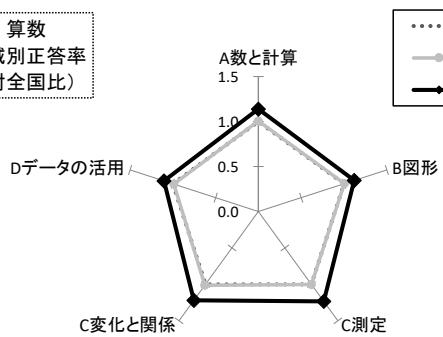
算数 領域別正答率(学校、大阪市、全国)



国語
内容別正答率
(対全国比)

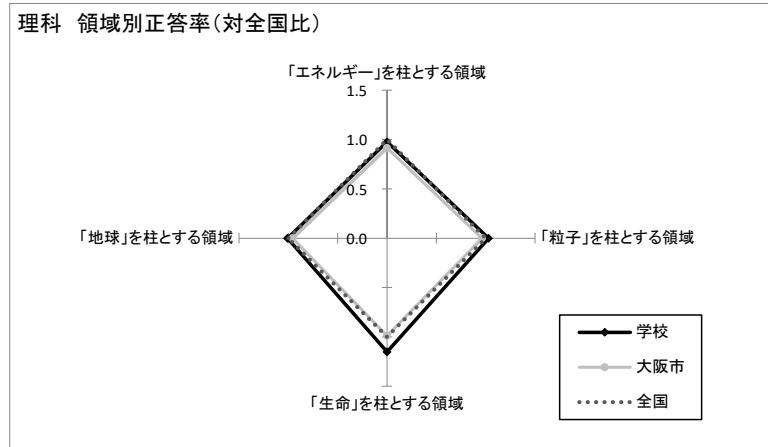
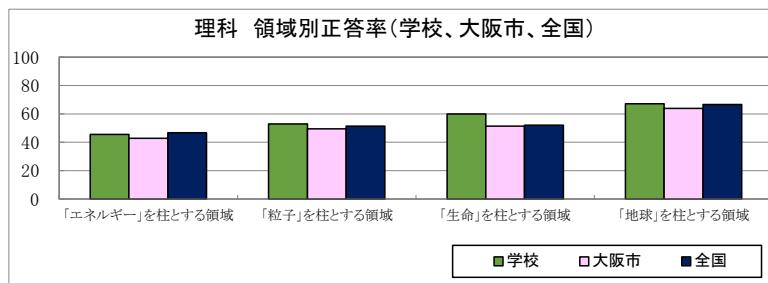


算数
領域別正答率
(対全国比)



【 理科 】

学習指導要領 の区分・領域	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 区分	「エネルギー」を 柱とする領域	4	45.6	42.7
	「粒子」を 柱とする領域	6	52.9	49.5
B 区分	「生命」を 柱とする領域	4	59.9	51.4
	「地球」を 柱とする領域	6	67.2	63.8



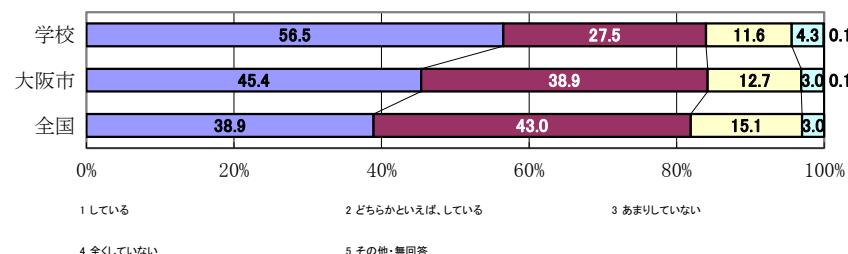
児童質問より

□1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8

質問番号
質問事項

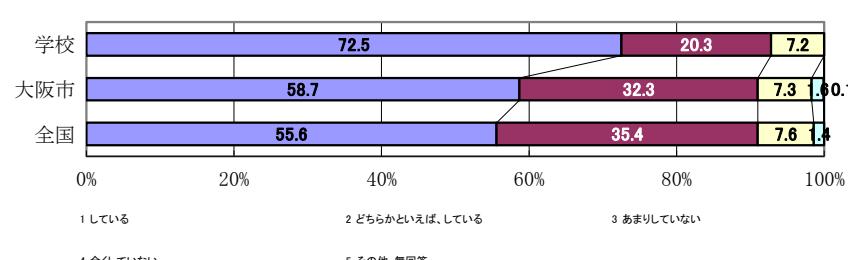
2

毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか



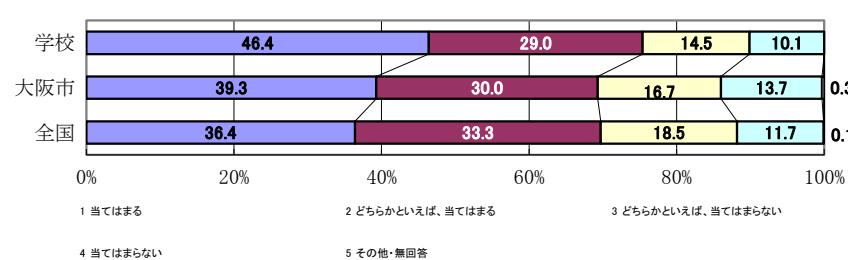
3

毎日、同じくらいの時刻に起きていますか



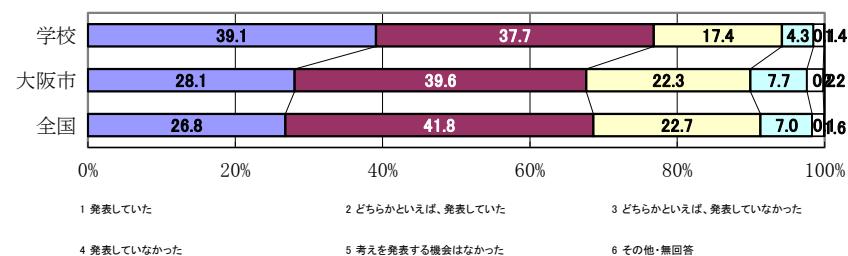
24

読書は好きですか



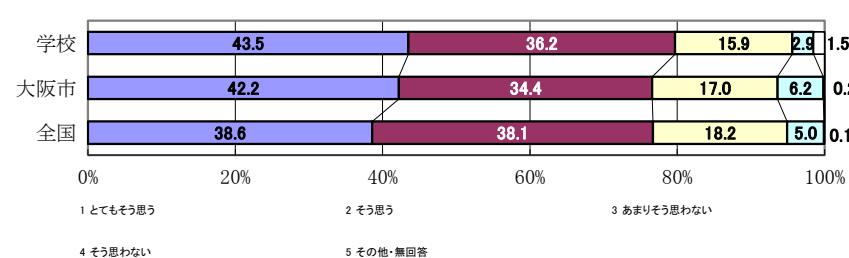
31

5年生までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか



75

あなたは自分がPC・タブレットなどのICT機器を使って学校のプレゼンテーション(発表のスライド)を作成することができますか



学校質問より

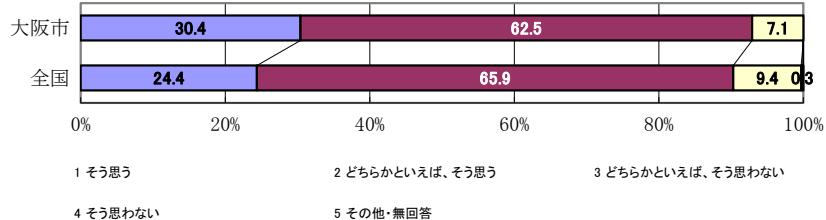
■1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8 ■9 ■10

質問番号
質問事項

7

調査対象学年の児童は、熱意をもって勉強していると思いま
すか

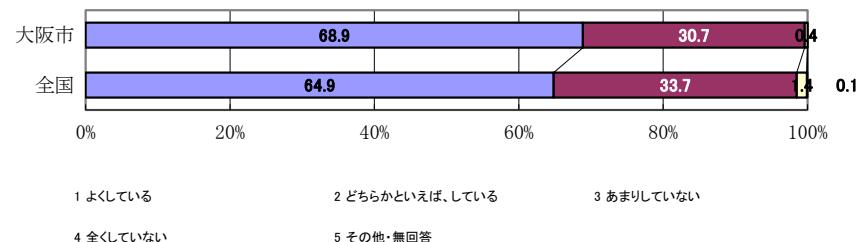
学校 「そう思う」を選択



18

授業研究や事例研究等、実践的な研修を行っていますか

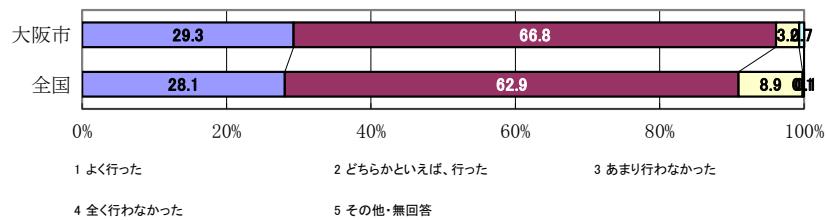
学校 「どちらかといえば、している」を選択



30

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、学習指導において、児童一人一人に応じて、学習課題や活動を工夫しましたか

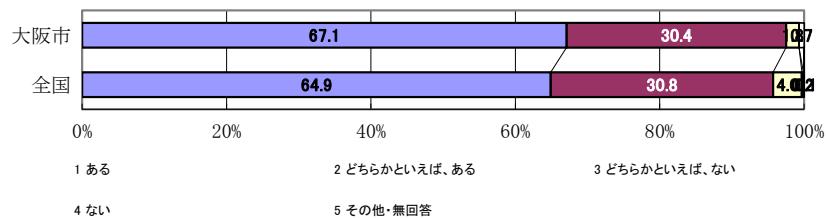
学校 「よく行った」を選択



56

教員がコンピュータなどのICT機器の使い方を学ぶために必要な研修機会はありますか

学校 「ある」を選択



66

児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどの端末を、どの程度家庭で利用できるようにしていますか

学校 「時々持ち帰って、時々利用させている」を選択

